

発行／坂城町公民館 発行人／塚田 常昭 編集／広報部 印刷所／滝沢印刷（同）
〒 389-0602 長野県埴科郡坂城町大字中之条 2468 文化センター内
TEL.0268-82-2069 FAX.0268-82-8722



さかきふれあい大学 マリンバコンサート

2月13日（土）、パーカッション・パフォーマンス・デュオ Calamus(カラムス)によるコンサートが文化センターで行われました。マリンバ、ヴィブラフォン、和太鼓、民族楽器などを使った迫力あるステージパフォーマンスに皆さん圧倒されていました。

❖主な内容❖

- ふるさと探訪PART109 2～4P
- 更埴地区短詩型文学祭入賞作品 5～6P
- 公民館行事から、500字リレートーク 7P
- お知らせ、館説「開畝」 8P

～ 桜めぐりと文化財(その1)～

はじめに

今年のお花見は身近な場所で…とお考えの方も多いことでしょう。町内には、桜と文化財が調和する場所がいくつもあります。今回のふるさと探訪では、3か所をピックアップしました。暖かくなったら、お近くの文化財を訪ねてみてください。

1 坂城神社

坂城神社は、葛尾山を背に鎮座しています。平安時代に編纂された『延喜式神名帳』に記載されている神社で、坂城郷（坂城、中之条、南条）の郷社でした。祭神は大己貴命、事代主命、建御名方命です。創建は天武天皇のころ（六七三～六八六）と伝わっています。国家や地域の安全・豊穰を祈るといふ務めを果たしてきました。坂城神社として成立する以前には、五里ヶ峰の森林を聖域とし、神を祀っていたといえます。古代から続く祈りに思いを致しながら、正面の石段を上りましょう。一對の狛犬、石の大鳥居、そして桜が迎えてくれます。今が令和の世であることを忘れるような光景です。【写真1、2】

狛犬は昭和三十八年（一九六三）に奉納されたものです。どっしりと立派な姿をしています。阿

【写真1】桜の向こうに石の大鳥居が見える



【写真2】手水に映る桜



形ぎょうの足元では子どもが遊び、うんぎょう吽形は球を足で押さえています。「子取り」「玉取り」という形式で、それぞれ子孫繁栄や家運隆盛などの願いがこめられ

ています。

石の大鳥居は明和七年（一七七〇）に奉納されたもので、中之条石でできています。現在は表面をモルタルで補強してあります。この鳥居は「二の鳥居」で、「一の鳥居」は御堀橋のそばに立っています。

参道を進むと、もう一對の狛犬がいます。

【写真3、4】天和二年

（一六八二）に奉納されたもので、町内最古の狛犬です。奉納した人物は石川市左衛門義孝とい

い、坂木藩板倉氏の家臣でした。地域の鎮守を護る狛犬に、自らの思いを託したのでしょうか。柔らかな石材のため、長年の風雪で亀裂や欠損がみられますが、補強を施し、上屋をかけて大切にしています。平成十一年（一九九九）に町の指定文化財に指定されました。その他、天保十三年（二八四二）に奉納された

【写真3】天和二年奉納の狛犬（阿形）



【写真4】天和二年奉納の狛犬（吽形）



石灯籠など、境内には多くの石造文化財があります。どれも、祈りや願い、感謝の気持ちがかめられているのでしょう。

拝殿は、天明元年

(一七八一)に再建されたものです。屋根は昭和三十一年(一九五六)に瓦葺に改装されました。この奥に本殿があります。本殿は貞享五年(一六八八)ごろに再建されたと考えられています。現在は銅板で屋根を葺いています。もと柿葺(こけらぶ)きです。拝殿の脇から覗かせてもらうと、鮮やかな色彩が施されているのを見ることが出来ます。

境内から参道を振り返ると、坂城駅までまっすぐ道が伸びているのがわかります。この地域のまちづくりは、坂城神社とその参道を基盤にしたのだと想像できます。

2 大英寺

大英寺は坂城神社の北東に位置しています。「多聞山」の額がかかる総門を過ぎ、まっすぐ進むと、正面に地藏菩薩と結界石(禁葦酒)が立っています。その背後に桜の木に囲まれたため池が現れます。水面にも

桜が映り、華やかです。参道は山側に折れ、本堂の大きな屋根が見えてきます。曹洞宗多聞山大英寺です。境内にも数種類の桜が植えられているそうです。【写真5】

大英寺は、初め真言宗天長寺といい、天長二年(八二五)、空海の創建で毘沙門天(多聞天)の霊場であったと伝わります。現在地より北西の山中にあったといい、坂城郷の北方を守護する寺であったと思われま。その後、天福元年(一一三三)に天台宗に改



【写真5】池の対岸から望む大英寺。水面に桜が映る。

め、寺の名も天福寺とし、天文二十二年(一五五三)、甲斐武田氏の兵火にかかるまで村上氏の祈願所であったといえます。この時、焼失を免れた天福寺の本尊と伝わる木造釈迦如来坐像が、南条の赤池氏により守られ、今日に伝わっています(町指定文化財)。

天福寺焼失の後、永禄年間(一五五八〜一五七〇)に大英知撮和尚によって中興され、天正十年(一五八二)、曹洞宗多聞山大英寺となりました。

本堂の西の背後に、高田藩松平光長の家臣で、坂木代官であった長谷川安左衛門利次夫妻の墓があります。長谷川家は寛永十一年(一六三四)から天和元年(一六八一)まで、三代にわたり坂木代官を務めました。初代永徹は六石の寺領を寄進し、二代利次は堂宇の修復を行うなど、大英寺と深く関わりがありました。寺には、長谷川家が藩主松平家から拝領したとい

う仏壇が伝わり、元は本堂西に建つ毘沙門堂の中に安置されていたと伝わりま。この毘沙門堂はもともと、一段高い利次夫妻の墓のそばにあり、建築様式や内部の彩色などから、霊廟(御霊屋)として建てられたものと考えられています。建築的特徴や、お堂前の石灯籠が天和二年(一六八二)に奉納されていることから、江戸時代前期に建てられたことが明らかにになり、平成十九年に町の指定文化財に指定されました(一般公開はしていません)。

桜咲く池に目を戻す前に、塀のそばに立つ句碑にもご注目を。

「マントキ」

我新しき 女かな

長野市松代出身の新劇女優・松井須磨子(一八八六〜一九一九)の詠んだものです。須磨子は女優になる前、姉と共にこの寺に下宿し、坂城小学校で裁縫を教えていたそうです。須磨子



【写真6】昭和初期の様子

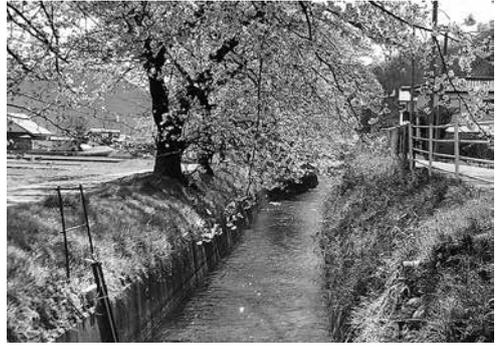
は後に、御所沢出身の前沢誠助と結婚し、誠助の勧めで女優を目指しました。坂城とご縁がある人物だということを、ご存知でしたか？

昭和初期、門前の桜のもとに大勢が集う写真があります。【写真6】大英寺の桜は坂城の名所として絵葉書に選ばれるほど有名でした。今は住宅が増え、遠くからは一見わかりませんが、歴史深い桜の名所です。

3 六ヶ郷用水

六ヶ郷用水は、千曲川左

【写真7】 長い歴史を持つ六ヶ郷用水



岸の村上地区を通過し、千曲市上山田まで続く灌漑用水、つまり人工の川です。六ヶ郷とは、網掛、上平、上五明、力石、新山、上山田の旧六ヶ郷を指します。上山田小泉で千曲川から取水し、上山田の流末まで、長さ約8kmにわたり農地を潤しています。途中、網掛集落と村上小学校の間に桜並木があり、見事な景観になっています。【写真7,8】もともとの取入口は、網掛水神宮のそばにありました。水害により土砂で埋まるたびに、取入口を上流へ

【写真8】 宮沖の桜並木



移設していった結果、現在の場所になりました。この用水は古くから存在すると伝わりますが、いつ開かれたかは、はっきりしていません。史料に現れるのは、戦国時代のことです。永禄十年（一五六七）、武田信玄が村上庄内の武士・大須賀佐渡守に宛てた朱印状に、「堰役を免除するので、その分、軍役を勤めるように」と書かれています。信玄は領内の堰（用水）の利用に税を課しており、村上庄内の堰というのは六ヶ郷用水のことだと考えられる

ます。少なくとも、戦国時代には既に開かれていたということがわかります。

江戸時代には、「戌の満水」と呼ばれる寛保二年（一七四二）の大水害のとき、被害を受けています。跡形も残らないほど取入口も水路も砂や石で埋まり、幕府による復旧が行われませんでした。これらの被害を避けようと、「石詰樁」や、「石積堤」、「堤」などの土木技術を駆使し、用水を守るようになった。史料から

は、開削から今日まで、人々が維持管理を続けてきた大切な川であることが伝わります。【写真9】

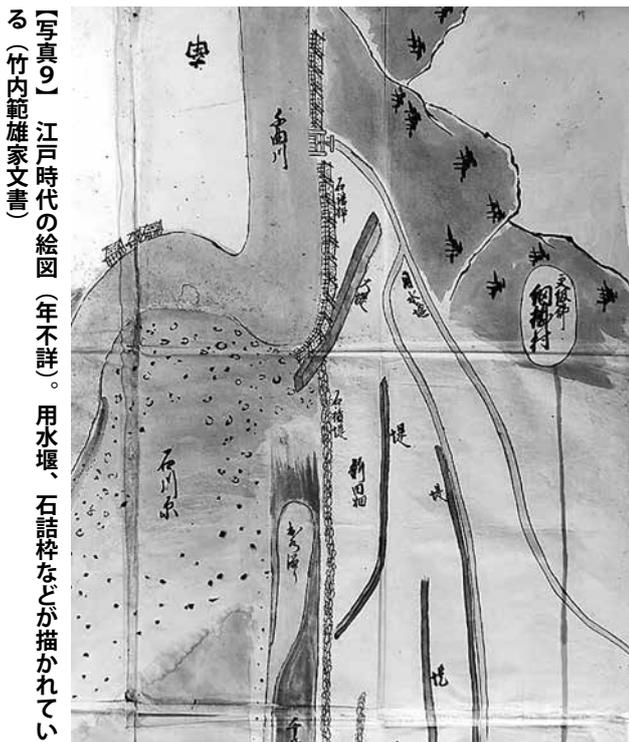
用水は、水量の調節や分水のために、途中何か所も分水のための水門を「待井」と呼び、長待井、沓待井などそれぞれに名が残っています。その他の見所として、網掛水神宮上流にある石造りのアーチ橋、網掛集落下流の通称「メロデー橋」での福沢川との

立体交差などがあります。網掛集落では、庭から用水へ伸びる階段が見られ、生活に利用されてきたことがうかがえます。

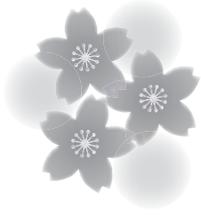
今日の豊かなくらしと、美しい景観を作り出した六ヶ郷用水は、現役の灌漑施設であり、大切な文化遺産でもあるのです。（いずれの場所も、水量が多い季節は危険ですので、見学には十分に気を付けてください）

おわりに

桜が植えられた場所には、人々が集います。あるいは、人々が集うためにそこに桜を植えたのでしよう。花見をしながら、その周辺も見渡してみてください。この町の歴史を語る文化財が、そばにあるかもしれません。（本間 美麻）



【写真9】 江戸時代の絵図（年不詳）。用水堰、石詰樁などが描かれている（竹内範雄家文書）



第二十五回更埴地区短詩型文学祭入賞作品

更埴公民館運営協議会（坂城町と千曲市で構成）において選考会を開催し、短歌の部、俳句の部、川柳の部、現代詩の部の各賞が決定しました。坂城町の入賞作品を紹介します。敬称は略させていただきます。

一般の部

【短歌の部】

◆更埴地区短詩型文学祭大賞
三密のストレスは無し夫と来て
りんごの摘果に今日も精出す
西澤ひろ子（北日名）

◆入選

庭先のプールに遊ぶ子供供達
遅い今年の夏連れてくる
滝沢さち子（入横尾）

【俳句の部】

◆更埴公民館運営協議会長賞
ステイホーム律義に守り冷奴
小西 正枝（町横尾）

◆佳作

かなかなや浅間嶺遠く父母の墓
竹内 文（網掛）

【川柳の部】

◆佳作
赤ちゃんの瞳で燃えている未来
小宮山洋子（中之条）

ポランティアの心に灯る善意の灯
西澤ひろ子（北日名）

【現代詩の部】

◆更埴公民館運営協議会長賞
晩年
杵掛喜久男（横町）

この世の大方終わったので
破るばかりの娑婆の地獄
いまだに残る俺の詩の
一行づつを消してゆく
本を売り薔薇を買う
貸借対照表が待ちつづける

生涯に飲むべき
酒量は超えて一括り
残んの酒を啜るとき
黄色い太陽沈みゆく
運転経歴証明書たずみこえて
老いゆく自由
置いてけぼりを
循環バスが掬いてくれし



◆佳作

夏の日
小宮山敬子（網掛）

雨のあがった裏山で
ひぐらしが鳴いている
隣家から玉ねぎを炒める音
甘いにおい
今年も咲いた さるすべりの花

遠い日
「こはんですよー」
庭にしいた ごごの上で
きみちゃんの作った だろだんご
ひとつ、ふたつ、みつつ

「今年の芋は大きいでー
数ならんかったけんど」
むこうの土手に
どっかりと腰をおろした
おみきおばさんが
でっかい声で話かけてくる

「暑いなー」
滴り落ちる汗を
拭おうともせずに
鍬をかついた
まさおさんが
帰ってきた

咲き始めた秋海棠のさくら色
いばりくさった草のかげで
はずれた網戸のむこう側で
ひびかれた瀬戸物の皿の中で
あの日のラジオが鳴っている
今日も きんのうも そして明日も

夢の種

小宮山洋子（中之条）

神様が私に
夢を一つ叶えて下さるとしたら
私は迷わず
種をお願ひします
思いやりという
小さな種ひとつ

その種を心の真ん中に
ていねいに置きます
思いやりの種から
やさしい色の花が咲き
大きな実をつけるでしょう

毛細血管のように
実は体中を巡り
その実を食べた人達は
皆んな思いやりの心を
纏った人間になれるでしょう

他人の痛みや苦しみなど
自分の心で分かち合える
思いやりという
一人の人間になれる
ふしぎな不思議な種よ

◆入選

へちま
松澤 瑞枝（込山）

子どもの頃
風呂に入ってからだを洗うとき
台所で茶碗などを洗うとき
スカスカで 少しごわごわのへちま
を使った

子育てで忙しかった頃
台所洗剤が水を汚し環境を汚染すると
アクリルたわしが推奨された
色とりどりのきれいなかわいいたわし

手軽さと便利さが追求され
地球上にプラスチックがあふれ
プラスチックのない生活などを考えら
れなくなった

資源ゴミと分別がはじまったが
使い捨てられたプラゴミは
空中に舞い上がり 海に流れこむに
まかされた

深海の魚たちまで

マイクロプラスチックに侵されている

たくさんの野菜の苗の間にへチマが
あった

二本買ってきて植えた

試行錯誤の末のへたな支柱に

つるはぐんぐんのびてからみ

あざやかな黄色の花を咲かせている

小学生の部

【短歌の部】

佳作

目の前の家に向かってもうダツシユ
クーラーのつく部屋は天国

南条小学校六年 小熊 千奈

もも太ろうつらしま太ろうつ金太ろう
だれかたりないおとひめさまだ

南条小学校二年 中島 杏

入選

まどの外まっかな空を見上げてる
夕日が山にかくれんぼする

南条小学校六年 竹内 紫玲

キャンプの夜テントの中の暗闇は
大きな怪物おそつてきそう

村上小学校六年 柳澤 凜

墓参りが先祖様と家に行き
みんなで花火をした夏休み

南条小学校六年 久本 優輔

【俳句の部】

奨励賞

春風に背中を押され進む道

南条小学校六年 池田 智哉

佳作

おとうさん日やけしすぎてまつくろだ

坂城小学校二年 西村 太良

入選

夏の海行つてみたいな外国へ

村上小学校二年 田中 伴弥

【川柳の部】

佳作

空を見て思い出しているともだちを

坂城小学校三年 中村 叶音

友だちと楽しい話元氣出る

村上小学校五年 ホシハライタル

コロナでね未来が見えなくなってきた

南条小学校四年 田中 結々

楽しい日なぜか早くね起きるんだ

村上小学校四年 藤田 美桜

入選

コロナさんそろそろ行つてじごくへね

村上小学校五年 高橋 海斗

【現代詩の部】

佳作

誕生日

南条小学校二年 中島 杏

みんな一年に一回くる
子どもはうれしいけど
大人はうれしくない

はたちまでたんじょう日はうれしい
はたちからたんじょう日はうれしく
ない

年をどんどんとりたくない

海

海

村上小学校五年 小島 千昂

夏は海が良い

プールもいいけど

海の塩分もまたよし

遠くからはなれてみると

その美しさに見とれ

空に見まちがえてしまいいそうだ

海が太陽にすかされて

光るところをかし

入選

おと

坂城小学校三年 中村 叶音

それはとつぜんやってきた

ちいさな ちいさな音がやってきた

早くみんなに会いたくて

あわててそこにやってきた

大きくなるのは ゆっくりだけど

なにもするの ゆっくりだけど

かわいがつてくれるみんなが大スキ
なんだ

小さい音が大きくなって

うたになつたんだ

音をいつも奏でてくれたそのひとを

助けたい

みんなをしあわせにしたい

それが「おと」のねがいなんだ

風

村上小学校五年 近藤 碧羽

夏は風

暑い風もあり

気持ちいい風もある

暑い風は 太陽の味方をし

気持ちいい風は ぼくたちの味方を
する

風はどちらも味方をするをかし

想像は無限大

南条小学校六年 小熊 千奈

この世は広い

想像は無限大

未来がわかる人がいるかもしれない

五百キロのウサギがいるかもしれない

空を飛ぶキリンがいるかもしれない

「星空」という星があるかもしれない

宇宙人がいるかもしれない

時を止められる人がいるかもしれない

私のとなりの人が神様の子ともかも

かもしれない

一秒後にゾウが百頭ふつてくるかも

しない

想像は無限大

リトミック教室

修了式おめでとう!!

公民館講座リトミック教室修了式を2月24日(水)に開催しました。みんなこの一年で成長し、お友達もいっぱいできました。当日は、みんな元気よく、公民館長さんから修了証をもらいました。



公民館文化講座を 開催して

農村女性ネットワーク

会長 師田 智恵子

今年度、初めての「季節の郷土料理」講座を開催しました。

新型コロナウイルス感染が広まる中、休講としたり、作った料理は持ち帰ったりするなど、皆で気をつけあつた年でしたが、和やかな雰囲気と、食や日頃の出来事の情報交換で、気分もリフレッシュできたひと時を過ごせた様に感じます。来年度も工夫をこらし、楽しい時間を持ちたいと思います。



500字リレートーク 全集中の海外生活

宮嶋 一浩

ある日、僕はアイルランドのダブリンという小さな街に出発。乗り継ぎ地であるカタールに着き、電光掲示板を見ると大雪で飛行機が遅延の文字。僕は焦って、カタコトながらもこれからどうしたら良いのか聞き回ったが、たらい回しされた。その時感じた事は、外国人の冷たさ。

次の日、苦労の末ようやくこれから住む街に到着。大雪の中、なんとかホームステイ先に着いたが、必死で考えた挨拶は緊張で言葉にならず、今後の不安が過った。

そんな不安だらけの留学生活を変えてくれたのが、留学先で出会ったトルコ人のセムだった。授業は理解出来ず、不安が募っていく僕に海外生活の術を沢山教えてくれた。セムの助けもあって、少しずつ英語も話

せるようになり、いつしか夢に出てくる自分が英語で話すようになった。

「言葉の壁」を超えて友人が沢山出来たことで、不安はいつしか自信に変わり、夜遅くまで遊んだり、ヒッチハイクで旅行に行ったりと、留学生生活を十二分に満喫することが出来た。「外国人は冷たい」そんな自分の小さな偏見を気づかせてくれたセムの事をふと思い出し、人として改めさせられる事は多い。

ああ、あの頃の生活に戻りたいなあ。

次は、柳澤恭平さんです。



一番左に写っているのがセムでその隣が僕です

お知らせ

公民館文化講座

令和3年度文化講座の受講生を募集します。全講座初心者を対象としていますので、ぜひお申し込みください。なお、複数の講座の受講もできます。

俳句	短歌	茶道 (表千家)	茶道 (裏千家)	書道	古文書	絵画
木彫	陶芸	コーラス	詩を楽しむ	季節の郷土料理	盆裁	自主講座

申込期日 4月1日(木)午後1時30分から
15日(木)まで
※年度途中からの受講も受け付けます。

申込場所 文化センター(2階)
※申込書は、文化センターにあります。
受講料を添えてお申し込みください。

受講料 1人1講座につき受講料3,000円

開講式 4月16日(金) 午後7時00分～
文化センター大会議室
※講座の進め方などの打ち合わせを行いますので、必ず出席してください。

リトミック教室



音楽(リズム)を用いて人間形成に欠かせない「社会性」、「創造性」、「感受性」を育てる楽しい講座です。保護者と子どもで参加してください。

申込期日 4月5日(月)から 文化センター(2階)
5月12日～2月16日 毎週水曜日(年間40回)
午前10時～11時30分

会場 文化センター大会議室

指導者 中沢敏江さん(リトミック研究センター特別講師)

対象 1歳～未就園児とその保護者(1歳未満は要相談)

受講料 8,000円 定員 20組

キッズスポーツ教室

軽運動や楽しいゲームなどで基礎的な身体づくり、コミュニケーションづくりをする講座です。

申込期日 4月5日(月)から 文化センター(2階)
5月12日～3月2日 毎週水曜日(年間30回)
午後4時30分～5時30分

会場 坂城町武道館

指導者 長野体育指導センター指導員

対象 4・5歳児

受講料 15,000円 定員 30名

講座及び各教室の詳細は「まなびの玉手箱」をご覧ください。 問い合わせ先 電話82-2069(文化センター)



成人式実行委員募集中!

今年の8月15日(日)に予定している成人式の実行委員になってくださる方を募集しています。興味のある方は公民館事務局までご連絡してください。
該当: 平成12年4月2日から平成13年4月1日生まれの方です。

館説 かいぜ 開歌

陽射しのあたたかさとともに、各地から桜の便りが届いてきます。昨年の春は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、三月から学校が一斉休校になり、そのまま四月の非常事態宣言の発出になってしまいました。各地の桜の名所においても、花見の中止が相次ぎ、ゆっくりと桜を楽しむことができなかったのではないのでしょうか。

日本の花のように思われている桜ですが、元々は中国から伝わってきました。日本でも幾度も品種改良され、現在よく知られる「日本の桜」が誕生しました。桜は種類が非常に多く、一〇〇種類以上あります。日本にある桜は、その多くはソメイヨシノといった種類の桜で、全国の八十パーセントを占めています。このソメイヨシノは、日本では種から桜が育ちにくい環境にあるため、初めに作られた一本の原木から接ぎ木や挿し木で増やしたクローンであると言われていています。全く同じクローンであるため、同じ条件で一齐に花が咲き出し、お花見や観測に適しています。最初は一本から始まったソメイヨシノも、現在では人の手を介し

て日本全国に広がり、全国できれいな花を咲かせています。桜は、花が散ってから緑の葉が出てきます。葉は、夏の太陽の光を浴び、根から栄養を吸収し、次の年の花芽を生成します。そして、秋になり葉は落ちてしまふと、生成は一旦止まり、休眠状態に入ります。休眠状態の花芽は、いつ目を覚まして咲こうとするのでしょうか。あたたかくなれば目を覚ますと思いがちですが、あたたかくなるから目を覚ますのではなく、休眠してからさらに寒くなり、その冬の寒さで目を覚まします。これを「休眠打破」と言います。「休眠打破」には、一定期間冬の寒さにさらされることが必要となります。そして、春を迎え、気温の上昇に合わせて、花芽の生成も加速し、生成のピークを迎えると開花します。冬の寒さのない常夏の地域では、日本の桜はきれいな花を咲かせないそうです。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の感染拡大の厳しい状況が続きます。私たちは、まさに冬の寒さの中にいます。しかし、桜と同じように、冬の寒さの中で人間もたくましく生きようとしています。この公民館報が配布される頃には、坂城町でも桜が満開になっていることでしょう。きれいな桜の花を見ることが、少しでも心に潤いを持ちたいものです。

(T・T)